

進行中の研究

企業と健康保険組合とのコラボレーションによる健康管理活動および保健事業の推進のための研究（コラボヘルス研究）

研究期間：西暦2014年5月 ～ 西暦2029年5月

研究機関：産業医科大学

研究責任者：産業生態科学研究所産業保健経営学 教授 永田智久

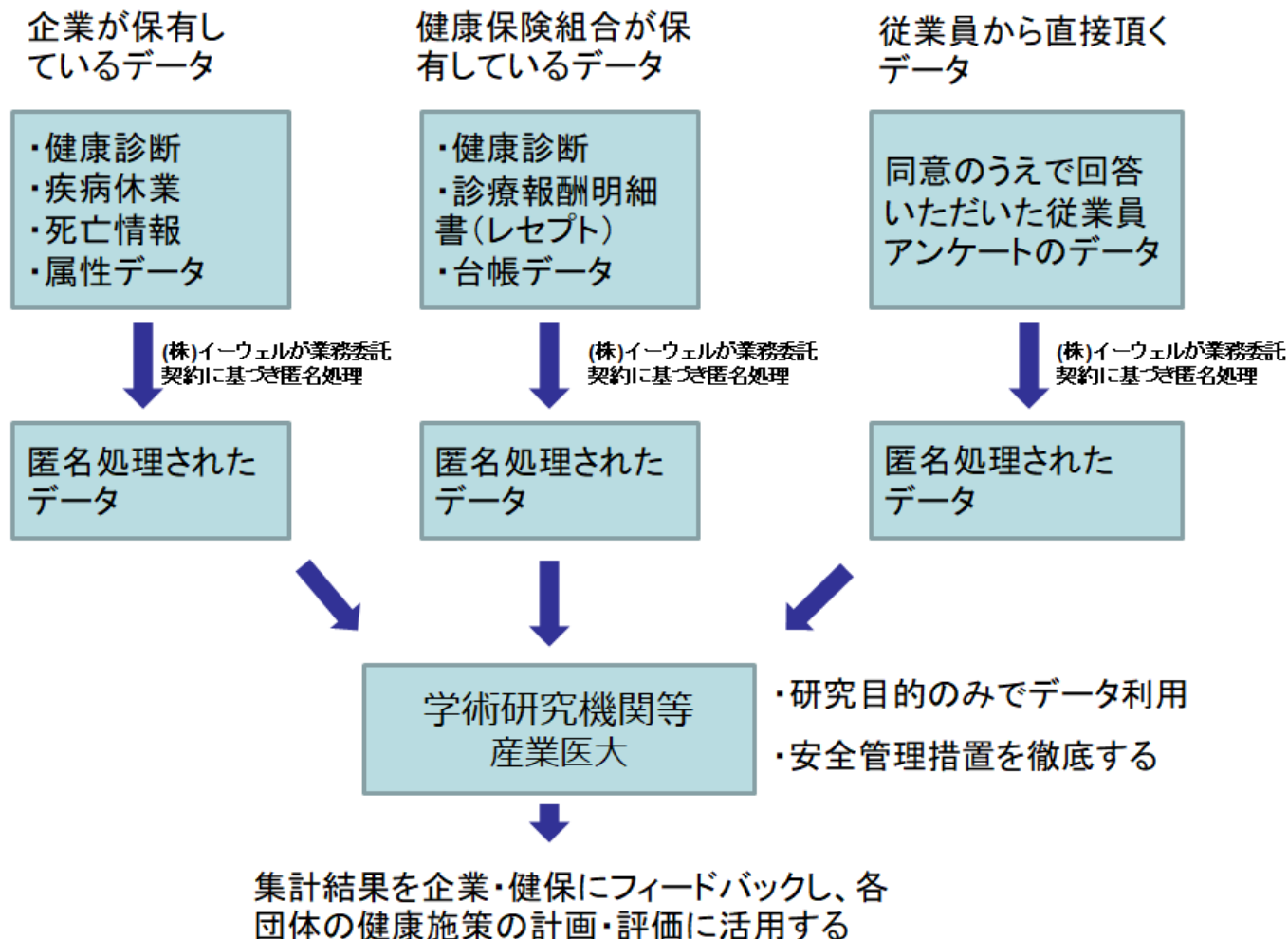
研究の目的と意義

近年、「健康経営」という用語が広まり、従業員の健康に投資する企業を評価する枠組みが提示されています。健康経営とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。つまり、従業員の健康を経営戦略の一環としてとらえ、積極的にその対策に投資することが必要です。しかし、従来の観察研究（特にコホート研究）では、生活習慣と疾病との関連は明らかにしていますが、生活習慣とプレゼンティーズム（労働者が健康上の問題を抱えたまま就業

している状態)との関連や、働き方(残業時間等)と医療機関への受療行動等との関連など、経営に直結する課題へのエビデンスが十分ではありません。本研究では、①企業が保有する健診結果、疾病休業者データ、在職者死亡情報、②健康保険組合が保有する診療情報明細書の情報、③従業員アンケートで把握した属性、生活習慣、短期の疾病休業、プレゼンティーズムの情報を年1回収集し、個人単位で突合させて観察するためのデータベースを開発します。このデータベースから分析をことにより、企業および健康保険組合で行う健康施策の立案や効果検証を行います。

研究の方法

データは、企業、健康保険組合、および、従業員(アンケートによる)からそれぞれ独立に受領します。いずれも個人情報を匿名処理した後のデータとして産業医科大学に提出されます(下図)。そのため、個人が特定されることはありません。



個人情報の取り扱い

データは、産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学研究室、および、産業保健データサイエンスセンターで取り扱います。居室の施錠の管理、室内の録画を行い、漏洩の対策を行ってまいります。本取り組みに同意いただけない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。(データ提出に同意いただけない場合に受ける不利益はありません。)

データの共有

近年、研究の適切性を担保する目的で、学術論文（国内、国外とも）を雑誌に投稿する際に、データの提出を求められることがあります。そのため、研究の解析に利用した最小限のデータを学術雑誌に掲載される場合があります。ただし、個人情報には含まず、また、個人に紐づく恐れがあるデータを開示することはありません。

問い合わせ先

産業医科大学産業生態科学研究所産業保健経営学 教授 永田 智久

福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 電話番号 093-603-1611（内線 4921）

Email : tomohisa(アットマーク)med.uoeh-u.ac.jp

その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。本研究は、受託研究費（コラボヘルス研究会）、科学研究費助成事業、厚生労働科学研究費補助金、厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金、奨学寄附金（産業保健経営学）、産業医科大学研究費（産業保健経営

学)の研究助成を得て実施します。産業保健経営学研究室は、コラボヘルス研究会事務局である株式会社イーウェルから奨学寄附金を得ています。また、研究責任者(永田智久)は株式会社イーウェルから顧問料を得ています。なお、分担研究者の木野大地は株式会社イーウェルに所属している訪問研究員です。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。